



松庵防災ニュース

第5号 2023年9月発行
松庵町会防災会

～災害時には「在宅避難」～

地震発生時は、従来の身の安全確保と火の始末後の「避難所への避難」から、自宅の安全が確保され居住の継続が可能な場合は「在宅での避難」へという形に変化しつつあります。少しでも快適な在宅避難ができるように日ごろからの備え(自助)は大切です。

今年に関東大震災から100年

今年に関東大震災から100年です。身近な事から日頃の備えを始めてはいかがでしょうか？

1. 役に立つアプリやHP

情報を取得することは災害時に大切な事です。平時からアプリなどで情報を確保しましょう。

- ・杉並区防災情報 <https://www.city.suginami.tokyo.jp/anzen/saigai/index.html>
- ・東京都防災ホームページ <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/>
(東京都の防災ページは多言語に対応しています。)
- ・東京消防庁ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/index.html>



杉並区



東京都



東京消防庁

2. スマホが使えない時や高齢者の工夫

災害発生時には通信障害や電力が失われることによってスマホが使えない事が予測されます。皆さんはご家族の携帯電話番号などを覚えていらっしゃるでしょうか？

特に一人暮らしの方は怪我などにより自分の情報を伝える事ができない状況も考えられます。災害時持ち出しキットに以下のような情報をまとめたカードなどを入れておくことも有効な手段と考えられます。

- ・氏名、生年月日、血液型、住所、連絡先→本人が話せない状況で役立ちます
- ・緊急時連絡先→仮にスマホが使えなくなっても離れた家族(息子や孫など間柄も記入)に第三者から連絡を取ることができます
(電話番号が分かれば避難所などに設置された電話から家族に連絡する事もできます)
- ・持病、服用薬の情報→お薬手帳のコピー、具体的な病名など

★ 松庵町会ホームページ (防災会ページ)

<https://member.sugi-chiiki.com/shouan-choukai/bouusaikai/>

発行責任者 松庵町会防災会会長 奥田義郎

